

第5回 高崎学検定

平成29年10月28日（土）実施



— 問題と解説 —

問 1

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎地域では古くから二毛作が行われていました。夏には稲を作り、冬には麦を作りました。麦は主に大麦と小麦でした。小麦は中小の河川や、古くから高崎台地を潤す長野堰などの用水のほとりに作られた水車で挽かれ小麦粉になりました。小麦粉はうどんとして食べたり、つみっこ・すいとんや【ア】などと呼ばれる汁物の食べ物になって、米の不足を補う役割を果たしました。特にうどんは冠婚葬祭などの食事の最後に出されるものとして重要な役割を持っていました。高崎の産物として知られている【イ】は、こうした粉食文化の歴史を受け継いでいるものです。

- ア (1) おっきりこみ (2) ひやむぎ
(3) そうめん (4) ちゃんぽん

[正解 1]

- イ (1) 水沢うどん (2) 高崎うどん
(3) 讃岐うどん (4) 倉渕うどん

[正解 2]

●解説

高崎市域は乾田地帯が多く、雪があまり降らない気候を利用して、二毛作を行いました。夏作では米をつくり、冬作では米の裏作として小麦・大麦をつくる農業が続き、麦の生産地帯でした。米の不足分を麦で補ったのです。大麦は押麦や挽き割りとして米に混ぜて食べました。

小麦は各地の小河川や用水を使った水車製粉で粉に挽かれ、うどん・おっきりこみ・すいとんなどの粉ものが、日常の食事に多く提供されました。

大正期になると、規模の大きな製粉業を起こす機運が高まりました。小麦の生産地であること、交通が便利で原料や製品の輸送に都合がよいことなどが理由でした。高崎駅から引込み線を使った日清製粉や日本製粉が稼動したのも、麦の産地を踏まえていたからでした。

問 2

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎市箕郷町下芝にある谷ツ古墳は、一辺が23メートルの【ア】です。上段は積石塚で朝鮮半島のものと同様につくりになっています。古墳からは国内では出土例が少ない「かみつけの里博物館」に展示されている金銅製飾履こんどうせいじょくりというクツが出土しています。周囲には【イ】が並べられ、日本と朝鮮の特徴を持ち合わせた古墳で、1987(昭和62)年「高崎市指定史跡」になりました。

ア (1) 方墳 (2) 円墳 (3) 前方後円墳 (4) 前方後方墳
〔正解 1〕

イ (1) 灯籠 (2) 土偶 (3) 墓石 (4) 埴輪
〔正解 4〕

●解説

1986(昭和61)年、県営ほ場整備事業に先だって実施された発掘調査により発見された二段構築の方墳です。下段の1辺が20メートル、高さ4メートル、上段は1辺8.5メートル、高さ0.7メートル以上の規模であり、表面は、葺石で覆われて下段上面に埴輪列がめぐってました。

発掘時には、全体が榛名山二ツ岳の火砕流で埋もれていたことから6世紀初頭の築造と考えられています。

上段中央に堅穴式石室があり、馬具類、甲冑類、装飾品とともに金銅製飾履こんどうせいじょくりが出土しました。飾履は金銅板を鉾で留め、外面全体に歩揺ほようとガラスをはめ込んで装飾し、さらに透かしとたがね彫りにより文様を表現しています。

飾履は朝鮮半島で流行したものであること、墳丘が朝鮮半島北部の積石塚と同じ構造になっていること、周辺集落跡から朝鮮半島系の土器などが出土していることを考え合わせ、この古墳は渡来系の有力者を葬った可能性が高いと考えられています。

問3

次の文章のうち、【ア】～【オ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

群馬県教育委員会は、平成24年より5年の歳月をかけて県内の古墳の総合調査を実施してきました。この程、その成果が、「群馬県古墳総覧」として刊行されましたが、これは【ア】、県下に所在する古墳の全体調査を受けて刊行された「上毛古墳総覧」以来のことです。

今回の調査で、県内には消滅したものも含めて1万3200基余りの古墳があり、この内、高崎市には2700基を超える古墳があったことが分かりました。この内、現存するものは【イ】基余りですが、この中には本来の古墳の上に神社やお堂が設けられ、信仰の対象になっているものが見られます。上小埜町にある上小埜稲荷山古墳は、墳丘上に【ウ】が祀られていて、本殿は市の指定文化財となっています。貝沢町の東部環状線沿いにある五霊神社古墳は、高崎城の【エ】として、時の高崎藩主により、墳丘上に鎌倉景政が祀られました。

また、墳丘だけでなく、古墳の主体部に後世の手が加えられているものがあります。倉賀野町にある安楽寺古墳は【オ】の壁面に薬師仏7体が彫り込まれています。秘仏とされていますが、12年に一度の御開帳は大勢の老若男女で賑わいます。

ア (1) 江戸末期 (2) 明治初期 (3) 大正初期 (4) 昭和初期
〔正解 4〕

イ (1) 2030 (2) 1530 (3) 930 (4) 630
〔正解 4〕

ウ (1) 烏子稲荷神社 (2) 頼政神社
(3) 於菊稲荷神社 (4) 辛科神社
〔正解 1〕

エ (1) 八方除け (2) 方位除け
(3) 鬼門除け (4) 開運厄除け
〔正解 3〕

オ (1) 舟形石棺 (2) 横穴式石室
(3) 竪穴式石室 (4) 長持形石棺
〔正解 2〕

●解説

群馬県教育委員会は平成24年から28年にかけて、県内に所在する3世紀末から7世紀までに築かれた古墳の総合調査を実施しました。この結果、県下には既に無くなってしまったものも含めて1万3249基の古墳があったことが分かりました。調査結果から全国屈指の規模であることが確認されました。

市町村毎の分布を見ると、高崎市が最も多く2741基を数え、全体の約2割を占めていますが、このうち、高崎市内には639基の古墳が現存していることが確認されました。

現存しているものの中には古墳が造られた当時の姿に近い状態で残っているものもありますが、多くは後世の人によって手が加えられ、その形を大きく変えています。

上小埜稲荷山古墳は6世紀前半に造られた直径約45メートル、高さ9メートルを超える円墳ですが、烏子稲荷神社の社殿を建立する際に古墳の頂上部は大きく削平されたと考えられ、社殿の裏では天井石が露出した横穴式石室を見ることができます。五霊神社古墳は全長50メートル前方後円墳ですが、五霊神社の社殿などが建立されたため、後円部を中心に大きく改変されています。浜尻町にある浜尻天王山古墳（全長53メートルの前方後円墳）と併せ、6世紀後半、井野川中流域を支配した権力者の古墳であったと考えられています。安楽寺古墳は直径20メートルの円墳の7世紀末に造られたと考えられますが、墳丘の南半分を安楽寺造成に伴って大きく削り取られ、本堂が接するように建てられています。横穴式石室（細かくは横口式石槨に分類されます）の壁面には鎌倉時代末期と考えられる薬師仏七体が半肉彫りで彫り込まれています。別名「穴薬師」とも言われ、秘仏とされています。12年に一度、巳年の4月に開帳されています。

問4

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

多胡碑南東約2キロメートルにある【ア】遺跡は、1951（昭和26）年新たに中学校を建設した際、校庭に一辺が4から5メートルの黒色の痕跡が複数見えました。

その後、昭和33・34年にこの部分を発掘調査したところ住居跡22軒が発

見されました。県内ではこれまで、この【イ】時代の住居跡がまとまって調査されたことが無かったことや多胡郡新設直前の時代のものでもあったことから、1973（昭和48）年に遺跡の価値が評価され「群馬県指定史跡」になりました。現在でも校庭の一部に住居の痕跡を見ることができます。

ア （1）入野 （2）日高 （3）新保 （4）矢田
〔正解 1〕

イ （1）旧石器 （2）縄文 （3）弥生 （4）古墳
〔正解 4〕

●解説

1951（昭和26）年入野中学校をこの地に建設した際、校庭に浮き上がる黒色の痕跡から古代の住居跡の存在が推定されました。昭和33・34年には、この校庭部分を調査し古墳時代の住居跡22軒を検出しました。県内ではこの様に古墳時代の大きな集落が調査され、成果を得られた遺跡がなかったことなどから、1973（昭和48）年8月「群馬県指定史跡」となりました。

更にその後も校舎増築や隣接地開発の際に調査が行われ、周辺には縄文時代や弥生時代の集落跡も存在することが明らかになりました。

多胡碑に最も近い集落跡の一つで、古代多胡郡を構成していく地域としても重要です。

問5

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎市倉渕町の倉渕長井遺跡敷石住居跡は、1953（昭和28）年、第二次世界大戦後の食糧増産のため水田造成中に発見された【ア】時代の住居跡です。住居床面には板状の石が敷きつめられ「敷石住居」と呼ばれています。中央には煮炊きや暖をとるための【イ】跡、床からは土器や石斧・石棒などの石器が出土しました。同年に「群馬県指定史跡」になりました。

ア （1）縄文 （2）弥生 （3）古墳 （4）奈良
〔正解 1〕

イ (1) かまど (2) 炉 (3) 暖炉 (4) こたつ

[正解 2]

●解説

「敷石住居」は、関東、中部地方を中心に建築された床面に平版の石材を敷き詰め内部の炉や石囲いなどを設けた縄文時代中期末から後期の住居跡の形式です。

この住居跡は、太平洋戦争後の食糧増産のため開田中に発見されました。この時代はまだ敷石住居の歴史的 성격が明確で無かった時期であったことから注目され、指定名称も「倉渕村長井石器時代住居跡」と住居一軒で指定されています。なお、出土石棒は安中市恩賀所在の大山産石材が使用されています。

問6

次の文章のうち、【ア】～【オ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

烏川と鐮川が合流する、岩野谷丘陵南を中心にした約5キロメートル内に、古代東アジアとの関係を示す貴重な碑が三基あり、それぞれ【ア】に指定されています。

【イ】は、「辛巳歳（天武天皇10年）（681年）」の年号を持ち、「^{さのの}佐野^{みやげ}三家を管理した豪族の子女^{くろめ}黒売とその子^{ちょうり}長利の系譜」を刻しています。

金井沢碑は、726（神亀3）年、同じく佐野（^{さぬ}贊）の^{みやげし}三家氏を名乗る氏族が、「仏教の教えで結びつき、祖先の供養、一族の繁栄を祈るため」建立した碑と見られています。

多胡碑は、711（和銅4）年3月9日に「上野国片岡郡・緑野郡・甘良郡の中から300戸を割いて、新たに多胡郡を設けたことを記した建郡の碑」で、同様の内容が平安時代の勅撰史書【ウ】にも記されています。1754（宝暦4）年、江戸の書家沢田東江が下仁田の漢学者高橋道斎とともに碑文の拓本を取り、その後拓本が沢田東江から朝鮮通信使書記に寄贈されました。それが中国に伝わり金石学の権威楊守敬らの目にとまり、【エ】が優れていると高く評価されました。

三碑は、平成27年、国が「中国を起源とする政治制度、漢字文化、インドを起源とする仏教が上野国の地に根付き、文化的高まりを生み出した重要な証しの三碑」としてユネスコに登録を申請しました。これを受けて平成29年のユネスコ国際諮問委員会において【オ】として登録の可否が

審議されることとなっています。

- ア (1) 国宝 (2) 特別史跡 (3) 貴重史跡 (4) 重要遺跡
〔正解 2〕
- イ (1) 入野碑 (2) 片岡碑 (3) 山名碑 (4) 山上碑
〔正解 4〕
- ウ (1) 続日本紀 (2) 古事記 (3) 万葉集 (4) 古今集
〔正解 1〕
- エ (1) 遺跡 (2) 碑の形 (3) 書風 (4) 石材
〔正解 3〕
- オ (1) 世界の記憶 (2) 文化遺産 (3) 碑文遺産 (4) 自然遺産
〔正解 1〕

●解説

上野三碑は、高崎市に所在する7世紀から8世紀にかけての古代の石碑3基（多胡碑、山上碑、金井沢碑）の総称で、それぞれ特別史跡に指定されています。三碑とも5キロメートル以内の非常に近接した位置に所在しています。

山上碑は、完存する石碑のうち、国内では最古の「辛巳歳（天武天皇10年）（681）」の紀年銘があり、碑文には佐野の三家を管理した豪族の子女である黒壳とその子長利の系譜を述べ、黒壳の追善供養碑の性格も持っています。

金井沢碑は、726（神亀3）年鳥川対岸の佐野（贊）地区に居住した三家氏を名乗る氏族が、仏教の教えで結びつき祖先の供養、一族の繁栄を祈るために建立した碑と見られています。文中の「下贊郷」あるいは「三家」が、「山上碑」冒頭の「佐野三家」と関わりとみられています。

多胡碑は、711（和銅4）年3月9日に上野国片岡郡・緑野郡・甘楽郡（碑の原文は「甘良郡」）の中から300戸を割いて新たに多胡郡が建てられたことやこれを決定した当時の中央政府首脳3名の名が記されています。古代の地方行政組織の在り方や多胡郡新設を伝える「建郡の碑」です。

碑文は江戸時代の1754（宝暦4）年、江戸の書家沢田東江が下仁田の漢学者高橋道斎とともに多胡碑の拓本を取り『上毛多胡郡碑帖』を刊行し、その後沢田東江から朝鮮通信使書記成大中に寄贈されて朝鮮に渡り、それが中国に流伝して地理学、金石学の権威であった楊守敬らにより優れた書風の碑文であるとして中国に紹介されました。

これら三碑は、平成27年には国が「中国を起源とする政治制度、漢字文

化、インドを起源とする仏教が、渡来人とともに日本に到達し、さらに東国上野国のこの地に根付き文化的高まりを生み出した重要な証しの三碑である」としてユネスコに登録を申請しました。これを受けて平成29年のユネスコ国際諮問委員会において世界の記憶として登録の可否が審議され、正式登録となりました。

問7

次の文章のうち、【ア】～【エ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

南北朝時代になると戦乱が続き、各地に軍事目的の一揆と呼ばれる集団が数多く発生しました。そうした中で、上州・武州の武士によって構成される白旗一揆は京都足利家の直属軍的性格を持って活躍しました。この一揆は、次第に、上州と武州で別れ、【ア】一揆と呼ばれるようになっていきました。関東の戦国時代の始まりといわれる、1454（享徳3）年からの享徳の乱では、【ア】一揆の主流は関東管領上杉氏に従うことになりました。この間に、この一揆のリーダーである旗頭には、それまでの舞木氏に代わって【イ】氏がなっており、上州の国人の間では【イ】氏が有力な存在になっていたことがうかがえます。その後、【イ】氏は、一族の拠点の城として、【ウ】城や【エ】城を築城し、西上州に覇をとることにしました。

ア (1) 西毛 (2) 上毛 (3) 上州 (4) 上野白旗
〔正解 3〕

イ (1) 長野 (2) 綿貫 (3) 大類 (4) 倉賀野
〔正解 1〕

ウ (1) 和田 (2) 鷹留 (3) 島名 (4) 山名
〔正解 2〕

エ (1) 根小屋 (2) 倉賀野 (3) 木部 (4) 箕輪
〔正解 4〕

●解説

一揆とは、やり方や手段を一つにするという意味で、中世では軍事目的に集まる集団のことを表していました。上州一揆には上州の国人が参加し、

その中でも高崎市域の武士団の割合は高く、和田氏、倉賀野氏、寺尾氏、長野氏、大類氏、綿貫氏などが知られています。関東管領山内上杉氏と古河公方の足利氏との争いで、1454(享徳3)年から始まった享徳の乱では、上州一揆は乱当初、足利氏についていましたが、すぐに上州一揆の主流は山内上杉氏側に従いました。この乱の間に、長野氏は15世紀後半に上州一揆のリーダーである旗頭に成長していきます。そして、その一族は榛名山東南麓を中心に勢力を広げ、鷹留城(下室田町)や箕輪城(箕郷町西明屋・東明屋)、厩橋城(前橋市)などを築城しました。

問8

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

後に箕輪城を築いた長野氏は南北朝後期に本拠地を【ア】館としたといわれています。

1509(永正6)年に連歌師宗長そうちょうが【ア】で連歌会を開いて逗留しました。その後大戸を経て草津へ行き、帰途に再び逗留し長野氏が連歌会を開いており、交通・文化の中心であったといえます。長野氏は近くの【イ】を菩提寺としました。宗派は時宗で、市指定重要文化財である寄木造の阿弥陀如来像があり、左足を踏み出して衆生を救う姿勢を見せています。境内には1384(永徳4)年から1509(永正6)年までの銘文がある市指定史跡の中世石造物群があり、このころに長野氏がここを拠点に活躍したことをうかがわせます。なお、同寺には現在動物霊園が設置されています。

ア (1) 室田 (2) 富岡 (3) 浜川 (4) 東明屋

[正解 3]

イ (1) 石上寺 (2) 長純寺 (3) 長年寺 (4) 来迎寺

[正解 4]

●解説

来迎寺は浜川町に所在する時宗の寺院で、鎌倉時代に作成された寄木造りの阿弥陀如来像は左足を少し前に出す来迎の姿や袈裟の表現などに時宗様式を示し、市指定重要文化財です。

境内にある長野氏累代の墓は市指定史跡で、五輪塔、宝篋印塔など36基があり、14世紀から16世紀に造立された石造物です。連歌を芸術的に高め、

各地を漂泊して広めた連歌師飯尾宗祇の弟子の宗長が、1509（永正6）年に新田から草津に向かう途中、浜川で連歌会を催しましたが、師匠の宗祇に同行して以前に二十日間も滞在したことがあったといます。その後草津からの帰りにふたたび浜川で連歌会を開催しましたが、長野氏が主催したと宗長の紀行文「東路のつと」にあります。一流の連歌師である宗祇・宗長を招いて流行の文芸の連歌会を浜川で16世紀初頭に少なくとも3回開催したことは、浜川が文化の中心であり、それを主催した長野氏の安定した権力と文化的素養の高さを示すものといえます。

解答選択肢の石上寺は箕郷町東明屋にあり、箕輪城の鬼門寺として長野氏が再興しました。後に高崎、三ツ寺町に移転しています。中世の石造物が多く、市指定重要文化財となっています。長純寺は箕郷町富岡にあり、長野業正(業政)が再興し長野氏菩提寺となっています。市指定重要文化財の長野業正(業政)の木像などがあります。長年寺は下室田町にあり、長野業尚が開基しました。境内に長野氏の墓があります。

問9

長野業政、業盛父子に仕えたといわれ、箕輪城落城後は、新陰流を広めるために諸国を流浪した、剣聖と謳われる人物は次のうち誰でしょうか。

- | | |
|------------------------------------|-----------------------------------|
| (1) <small>いとういつとうさい</small> 伊藤一刀斎 | (2) <small>かみいずみのぶつな</small> 上泉信綱 |
| (3) <small>つかはらぼくでん</small> 塚原卜伝 | (4) <small>やぎゅうむねよし</small> 柳生宗厳 |

〔正解 2〕

●解説

上泉伊勢守信綱は箕輪城の長野氏に仕え、長野氏滅亡後、長野氏旧臣を取り立てた武田信玄には仕えず、落城後、新陰流を普及させるため諸国流浪の旅に出たと伝えられています。剣聖と謳われ、門弟に新陰流宗家を譲られた柳生宗厳（石舟斎）らがおり、多くの流派の祖とされ、様々な伝承が各流派に伝わります。

問 10

箕輪城の郭馬出西虎口門は、井伊直政が城主を務めた時代の姿に復元され、2016（平成28）年11月から公開されています。次の写真のうち、復元された箕輪城郭馬出西虎口門の写真として正しいものはどれでしょうか。

(1)



(2)



(3)



(4)



〔正解 1〕

●解説

箕輪城は榛名山東南麓の丘陵上を中心に、北東と南西の平地部を含んだ戦国時代の平山城です。東西約500メートル、南北約1,100メートル、面積約36ヘクタール（史跡面積＝約19ヘクタール）におよぶ西上野の中核的な城郭です。

西暦1500年前後に長野氏が築城した箕輪城は、長野氏の本拠でした。武田信玄に落とされた後は、武田氏、織田氏、北条氏、徳川氏と次々と主を変えましたが、最後の城主井伊直政は、徳川家家臣のなかでは最大石高の12万石で封じられています。その後、1598（慶長3）年、井伊直政は城を高崎に移し、箕輪城は廃城になりました。

高崎市では史跡整備のための発掘調査を1998(平成10)年度より開始し、最後の井伊直政期を中心に門跡、石垣、石組の排水溝、土塁、堀、掘立柱建物がみつかっています。郭馬出西側の出入口(虎口)部分では、井伊氏時代の城門の柱の礎石が8石確認され、これらの礎石がすべて残っていた好条件に加えて、各地に現存している近世初期の城門を参考にすることで、門の建物構造を推定でき、2014(平成26)年度から伝統的工法で復元を進め、2016(平成28)年11月に完成しました。

この城門は箕輪城跡で発掘調査された7箇所の中での最大規模(幅5.73メートル、奥行3.48メートル)を誇り、箕輪城を象徴する城門の一つであったと想定されます。

箕輪城では、この他に4石の礎石がすべて確認された本丸西虎口門も、今後復元されていく計画になっています。

問11

次の文章のうち、【ア】～【オ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

井伊直政は、北条氏との戦における和睦交渉での功績や、井伊の【ア】と敵から恐れられた軍団による戦功があり、1590(天正18)年12万石で箕輪城主となりました。箕輪城は要害の地でしたが、時代に即応した場所に城を移す徳川家康の考えに基づき、1598(慶長3)年に【イ】と呼ばれた地に築いた城へ移り高崎と名付けました。高崎城主となりましたが、家康の側近として東奔西走し、関ヶ原の戦いの前は、東軍勢力を優位にするため西軍有力大名に対する外交交渉に力を発揮し、東軍優勢の態勢を築くことに成功しています。合戦当日には、豊臣恩顧の大名が主力の東軍にあって、この戦いを徳川の戦いとするために【ウ】、また、敵中突破の撤退作戦を展開した【エ】を追撃し、徳川軍の面目を立てる戦功を挙げました。戦いのあと高崎を去り、6万石加増され近江国(滋賀県)の【オ】へ移りました。

ア (1) 赤備え (2) 騎馬武者隊 (3) 五色備え (4) 長柄組

[正解 1]

イ (1) 飯塚 (2) 下之城 (3) 鷹ヶ崎 (4) 和田

[正解 4]

ウ (1) 全軍を鼓舞し (2) 開戦の火ぶたを切り

(3) 持場を死守し (4) 融和を図り

[正解 2]

エ (1) 石田勢 (2) 宇喜多勢 (3) 島津勢 (4) 毛利勢

[正解 3]

オ (1) 大津城 (2) 佐和山城 (3) 膳所城 (4) 長浜城

[正解 2]

●解説

徳川家康は1590(天正18)年に関東に移ると家臣団の配置を行い、箕輪12万石に井伊直政を配しました。直政に交通至便で大軍を受け入れ可能な広大な地への移転を命じ、所領の中から信濃と越後への分岐点にあたる和田の地を選び、和田城址を取り込む形で城を築き高崎と名付けました。直政は高崎城主となりましたが家康の側近として東奔西走し、高崎に落着く時間が殆どなかったようです。徳川政権における直政の働きは、井伊の赤備えと恐れられた勇猛果敢な大将としての軍功と、戦における和睦交渉な揮した外交面の功績が挙げられます。関ヶ原の戦い前後の外交実績は、同戦いを東軍勝利に導いたといっても過言ではなく、普段から築いた信頼関係により豊臣系武将を東軍に取り込み、西軍と対等に近い態勢に導きました。合戦当日には、豊臣系武将が占める東軍の中で、開戦の火ぶたを切ることによりこの戦いを「徳川の戦い」と位置付けることに成功しています。また、後世「島津の退き口」といわれる敵中突破の撤退を敢行した島津勢を追撃し、徳川の面目を立てました。関ヶ原の戦いの後、直政は高崎を去り6万石加増され近江国佐和山城(現滋賀県彦根市)へ移りました。

問12

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

江戸時代後期の老中松平定信は、荒廃した農村の復興と幕府の緊縮財政をかかげて、「寛政の改革」に取り組みます。

既に天明年間(1781~89)には、東北を中心とする冷害や、浅間山の噴火、水害によるいわゆる「天明の飢饉」によって、全国的に百姓一揆や米騒動が頻発する中、上州の農村には、無宿人や博徒が横行して、治安の悪化が進んでいました。

そこで幕府は、1793(寛政5)年に、改革の一環として中山道と日光例幣使道に近い【ア】に陣屋を設置しました。幕府は、【イ】として

吉川栄左衛門と近藤和四郎を置き、幕府領の村々を支配させるとともに、農村の復興に取り組みました。

ア (1) 羽生 (2) 吉井 (3) 上里見 (4) 岩鼻

[正解 4]

イ (1) 郡奉行 (2) 代官 (3) 肝煎名主 (4) 知事

[正解 2]

●解説

江戸中期以降、農村では、一部の土地の集積や百姓一揆の頻発が問題となっていました。さらに天明期(1781~89)には、「天明の浅間焼け」に代表される自然災害や、凶作によって、いわゆる「天明の飢饉」が発生し、農村の疲弊が進みました。そのため、人口が減少して生産力が低下し、税収不足に陥った幕府では、老中となった松平定信が、「寛政の改革」を実行します。

幕府は、荒廃する北関東数箇所に陣屋を開設、代官に農村の実状を把握させようとしています。中でも岩鼻陣屋は、中山道・日光例幣使道・烏川水運に近い交通の要衝にありました。後に陣屋は、関東取締出役(八州廻り)の拠点となり、さらに幕末には、上州・野州・武州の幕領50万石を管掌下とします。さらに明治に入ると、陣屋は岩鼻県庁となりました。

現在、岩鼻陣屋跡(県指定史跡)には、郭内の物見台に利用された天神山古墳などを見ることができます。また、近傍の観音寺には、代官吉川栄左衛門など陣屋関係者の墓、赤城神社には、代官山本大膳など陣屋役人が寄進した石造鳥居が残されています。

問13

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

1783(天明3)年の【ア】で大きな被害を受けた群馬郡下滝村では、耕地を失った農民が村を離れ、また、間引きが公然と行われていました。同村の名主【イ】は、岩鼻代官に基金として百両を差し出し、この金を代官所が運用し、その利益の一部十両の下げ渡しを申し出、これを基金に村内困窮農民を救おうと計画しました。この仕法が代官所に採用され、下滝村で【ウ】が施行されるようになりました。

- ア (1) 浅間焼け (2) 卯の大風
(3) 滝の大洪水 (4) 天明の大地震

〔正解 1〕

- イ (1) あまだぜんべえ天田善兵衛 (2) いいのぜんざえもん飯野善左衛門
(3) なかじまいへえ中島伊兵衛 (4) もぎそうべえ茂木惣兵衛

〔正解 1〕

- ウ (1) 御救小屋制度 (2) 産育世話役
(3) 小児養育制度 (4) 寺子屋

〔正解 3〕

●解説

下滝村（現高崎市下滝町）名主の天田善兵衛は、近郷近在きっての大地主であると同時に農間渡世として質屋などを営み、実業家ともいえる一面を持っていました。1783（天明3）年の浅間焼けにより下滝村も大きな被害を受け、耕地を失った農民が村を離れて、手余地や荒れ地が多く発生し、また、間引きが公然と行われるようになりました。善兵衛は村の窮状を凌ぐために、岩鼻代官に基金として百両を差出し、この百両を代官所が運用し、その利益の一部十両の下げ渡しを受け、これを基金として村内に居住する困窮農民の救済を行う計画を申し出ました。この仕法が制度として導入され、代官所が子供の養育費の一部を支給する小児養育制度となります。

問14

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

吉井藩は、江戸中期以降、幕末まで松平氏が藩主となりました。この松平氏は、【ア】松平といい、京都の公家出身の【ア】氏を祖としています。

そして【ア】松平氏の吉井藩は、幕末維新期に二つの重要な政治的役割を果たしました。一つ目は、大老井伊直弼と対立した水戸藩の徳川斉昭に「永蟄居」（終身謹慎）を伝えたこと、二つ目は諸藩にさきがけて【イ】したことです。特に後者は、諸藩の抵抗が予想される版籍奉還・廃藩置県などの政策を考える上で、重要な役割を果たしたといえるでしょう。

- ア (1) 九条 (2) 近衛 (3) 万里小路 (4) 鷹司

[正解 4]

イ (1) 分家 (2) 改易 (3) 廃藩 (4) 転封

[正解 3]

●解説

吉井藩は、江戸前期以降、菅沼氏、安藤氏、堀田氏などが藩主となり、江戸時代中期以降は、京都の公家出身である鷹司氏を祖とし、松平姓の名のりを許されたいわゆる「鷹司松平」氏が藩主となりました。

1709 (宝永6) 年、同氏の信清は、1万石の大名として矢田に陣屋を置きました。その後1752 (宝暦2) 年、陣屋は、矢田から吉井へ移されたと考えられています。そのため、吉井藩は長く「矢田藩」とされ、幕末に至るまで「吉井藩」と称することはありませんでした。

幕末維新期に、吉井藩は重要な役割を果たすこととなります。一つは、対外政策上、井伊直弼 (大老) と徳川斉昭 (元水戸藩主) の対立が深まる中、吉井藩主・松平信謹が、幕府の意向により、「永蟄居」(終身謹慎) を斉昭に伝えました。これは、鷹司松平氏の家格が幕府に勘案されたと考えられます。

また、吉井藩が1869 (明治2) 年12月に、諸藩に先駆けて廃藩します。このことは、明治政府の内政の柱である版籍奉還・廃藩置県を考える上で重要です。廃藩は、武士が家禄を失うもので、諸藩の強硬な抵抗を生むと考えられていたからです。吉井廃藩の理由は、藩主や多くの藩士が江戸にいたことや、財政悪化などが影響したと考えられます。

現在の吉井藩陣屋跡 (吉井町吉井) は、東西180メートル、南北100メートルのうち、堀・土居の痕跡がうかがえる部分が残されています。また明治期に払い下げられ、後に復元された表門 (市指定文化財) が保存されています。

問15

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

二代将軍徳川秀忠の次男忠長は、その所領や官職から【ア】と呼ばれ、御三家に並ぶ高い地位にありました。しかし、狂気を理由に高崎城に幽閉され、高崎城主安藤重長の赦免哀訴も認められず、兄である三代将軍徳川家光の意向を察して自刃し、遺骸は【イ】に埋葬されました。罪

人扱いであったため、四十三回忌に漸く建立された【ウ】の墓は高崎市指定史跡の第一号になっています。廟は太平洋戦争の空襲で焼失しましたが、【イ】には豊臣秀頼とよとみひでより着用とよとみひでよりの陣羽織を作り変えた袈裟や愛用の硯箱が保存されています。

- ア (1) 甲斐中納言 (2) 信濃宰相
(3) 駿河大納言 (4) 三河左近衛中将

[正解 3]

- イ (1) 安国寺 (2) 玉田寺 (3) 清水寺 (4) 大信寺

[正解 4]

- ウ (1) 五輪塔 (2) 多宝塔 (3) 宝篋印塔ほうきょういんとう (4) 和型三段塔

[正解 1]

●解説

市内通町の大信寺の墓地に徳川忠長の五輪塔の墓があります。高崎市の史跡第1号に指定されています。忠長は二代将軍秀忠の第三子で、姉は千姫、兄は三代将軍家光です。駿河国・甲斐国と遠江国の一部55万石の領主で駿河に入城し、従二位権大納言であったことから駿河大納言と言われます。兄家光に疎んじられ、父秀忠の死後、乱行を理由に1632(寛永9)年に高崎藩主安藤重長に預けられ、高崎城内に幽閉されました。重長は赦免を哀訴したが容れられず、「忠長を自殺に追い込むように」という将軍の意中を口頭で伝える老中阿部重次に対し、御墨付がなければと拒絶もしました。最終的には御墨付が持参され、忠長は翌年12月6日自刃して果てます。死後四十三回忌にあたる1675(延宝3)年によく墓が建てられましたが、罪人扱いのため墓は鎖でつなぐ「鎖のお霊屋たまや」と呼ばれていました。廟は戦災で焼失しましたが、千姫から贈られ、豊臣秀頼着用とよとみひでよりの陣羽織を作り変えた袈裟や愛用の硯箱が保存されています。

問16

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

下滝町の「しだれ桜」で知られる【ア】は、当地における真言宗の中心寺院として僧侶養成の談義所となった古刹です。境内には群馬県指定

重要文化財の【イ】の逆修塔（生前に自分の死後の冥福を祈願し建てた塔）があります。【イ】は江戸時代の初め滝川地区の新田開発に注力した人物で、総社領主秋元氏が完成させた天狗岩用水開発に参加した経験を生かして、関東郡代伊奈備前守忠次が天狗岩用水の余水を利用した【ウ】開発に協力し、その功績により苗字帯刀を許され滝村を賜り名主となりました。

ア (1) 観音寺 (2) 九品寺 (3) 慈眼寺 (4) 正観寺

〔正解 3〕

イ (1) 江原源左衛門 (2) 梶山与惣右衛門
(3) 須賀庄兵衛 (4) 高井喜三郎

〔正解 1〕

ウ (1) 板鼻堰 (2) 井野川堀 (3) 佐野堰 (4) 代官堀

〔正解 4〕

●解説

江戸幕府の郡代伊奈備前守忠次は天狗岩用水を玉村地域まで延長する工事を行い、1608(慶長13)年に代官堀(備前堀)を完成させました。天狗岩用水(越中堀)は、上野国総社(現前橋市総社地区)の領主秋元越中守長朝が、城の堀水・城下町用水、新田開発を目的として1604(慶長9)年に完成させたもので、上滝村の江原源左衛門はこの開発事業に参加した経験を活かし、代官堀の開削に大いに貢献しました。代官堀によって滝川・玉村地域が広く開発され、用水開削・新田開発に功があったことから源左衛門は滝村を賜り、江原の名字と帯刀を許され名主となりました。源左衛門が生前に建立した逆修塔が、高崎地域における真言宗の中心寺院として僧侶養成の談議所となった古刹・下滝の慈眼寺にあり群馬県指定重要文化財になっています。

問17

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

当時は飯玉神社と呼ばれた倉賀野神社建替工事の際に「本殿造営寄付帳」の序文を起草した【ア】は、良寛の伝記『橘物語』の著者として知られる倉賀野宿生まれの歌人・国学者です。倉賀野神社本殿は【イ】年

に上棟完成、彩色の無い様々な彫刻が駆使され軒廻りが装飾されています。造営建築関係の文書が保存されているので建築年代が明確であり、高崎市の重要文化財に指定されています。

ア (1) 飯塚久敏 (2) 市川米庵 (3) 亀田鵬斎 (4) 高井鴻山

[正解 1]

イ (1) 1565 (2) 1665 (3) 1765 (4) 1865

[正解 4]

●解説

飯塚久敏は、倉賀野宿に生まれた幕末期の歌人・国学者です。江戸時代後期の曹洞宗僧侶にして歌人・漢詩人・書家として名高い良寛の伝記物語として最も早い『橘物語』の著者で、『上野国古碑考』では多胡碑に関する諸説の紹介と持論を展開しています。1853（嘉永6）年に始まった飯玉大明神立替工事では、「御本殿造営寄附帳」の序文を起草しています。飯玉大明神は「飯玉宮」と呼ばれ、明治期になり大国玉神社、倉賀野神社と改称されました。本殿は1865（元治2）年に上棟の儀式が行われ、形式は一間社流造で正面及び背面に唐破風が付いています。軒回りの装飾は、江戸時代後半の社寺建築の特色といわれる彩色のない様々な彫刻が駆使されています。造営建築関係の文書が保存されているので建築時期が明確であり、高崎市指定重要文化財になっています。

問18

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

まつだいら おおこうち てるさだ
松平（大河内）輝貞が村上へ転出した後に【ア】が高崎城主となります。

【ア】は六代将軍徳川家宣の側用人を勤め、新井白石とともに幕政の中枢に君臨し、後に正徳の治と呼ばれる政治改革を推進した人物です。高崎藩在任中の業績には、城下町の拡大発展に寄与し、常盤町・四ツ屋町・新喜町が新設されました。さらに特産物の育成にも力を尽くし、【イ】の生産を推進しました。また、『延喜式』神名帳にも記載されている由緒ある【ウ】の再建に尽しています。

ア (1) 太田資晴おおたすけはる (2) 酒井忠清さかいただきよ (3) 堀田正俊ほったまさとし (4) 間部詮房まなべあきふさ

〔正解 4〕

イ (1) かんぴょう (2) 桑紙 (3) こんにやく (4) 鉄瓶

〔正解 2〕

ウ (1) 小祝神社おぼり (2) 熊野神社
(3) 諏訪神社 (4) 富士山神社

〔正解 1〕

●解説

間部詮房は喜多流能役者の子供として生まれ、甲府宰相徳川綱豊（のち家宣と改名）の近習として仕え、綱豊が六代将軍に就くと側用人に出世した奇特的な経歴で、新井白石と共に行った正徳の治で知られる人物です。老中格に登用されたことを機にそれに相応しい格の城主になる必要もあり高崎藩5万石に入封、これに伴い前藩主松平（大河内）輝貞は村上藩へ移封されます。幕政の中枢にあり、また、七代将軍家継が幼少のこともあり、江戸城を離れられず高崎の地に入ることはありませんでした。しかし、家臣との連絡を密にし、常盤町・四ツ屋町・新喜町を新設し城下の拡大を行ない、燃料であった桑の木の皮をはがして紙を製造する桑紙を特産物として推進するなど高崎の発展に寄与しました。石原町にある小祝神社は、『延喜式神明帳』に上野国十二社の一つとして記載された由緒ある神社でしたが戦火で焼失していました。同社の別当である石昌寺住職から復興の願が藩に提出され、これに対し数々の便宜を与え再建しています。

問19

次の文章のうち、【ア】～【エ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

長野堰は、高崎地域を代表する大規模灌漑用水で、「世界かんがい施設遺産」にも登録されています。

ところで、用水の構造は、本郷町の先で烏川から取水し、【ア】の下をくぐり、我峰町から用水の主幹線が南東方向に進みます。そして、大橋町の県道高崎・渋川線（旧三国街道）に至ると、【イ】で分水された水路は、高崎城の堀の水を満たしています。この堰の水は、かつては、水車・

染色に利用され、城下の飲料水にも使用されました。

さらに主幹線が、江木町・岩押町・上中居町の境界付近に進むと、【ウ】が設置されています。ここで灌漑面積に比例して4つの堰に分水され、下流域の耕地のすみずみに配水されています。

また、長野堰の補助用水として、榛名湖からの引水があります。古くは、江戸時代の高崎藩主・松平まつだいら（大河内）輝貞おほこうちによる「宝永の水論」が知られています。これは失敗しますが、明治時代には、長野堰の末端にあたる倉賀野町長【エ】の活躍もあり、1904（明治37）年に榛名山頂付近の天神峠隧道工事が竣工し、榛名湖から引水できるようになりました。

- ア （1）一貫堀川 （2）井野川 （3）早瀬川 （4）榛名白川
〔正解 4〕
- イ （1）十二堰 （2）新井堰 （3）浜尻堰 （4）佐野堰
〔正解 2〕
- ウ （1）頭首工 （2）余水吐 （3）円筒分水堰 （4）坂東合口
〔正解 3〕
- エ （1）駒井真蔭こまいまさかげ （2）羽鳥権平はとりごんべい
（3）松本勘十郎まつもとかんじゅうろう （4）矢島八郎やじまはちろう
〔正解 3〕

●解説

長野堰は、江戸時代の文書には「西新波堰」「大堰」と記される大規模灌漑用水です。その水源は烏川で、現在の高崎市本郷町地先の頭首工より取水し、長野堰主幹線が高崎市北西部から中央部にかけて伸び、主に円筒分水堰で、さらに南東方向に向けて分流・灌漑しています。

長野堰改修紀功碑は、1934（昭和9）年に上並榎町に建てられた巨大な石碑で、堰の歴史やその意義が記されています。碑の文章は群馬県知事・金澤正雄、書は近代高崎の文人・松村琴荘によるものです。

一方、「宝永の水論」で、榛名湖から榛名白川への引水を計画した高崎藩領11ヶ村（上芝・下芝・井出・保渡田・楽間・行力・浜川・北新波・南新波・上小鳥・上小塙）が、安定した水源を確保するのは、昭和期の群馬中部用水・群馬用水を待たなければなりませんでした。

なお、松本勘十郎（1836～98）は、江戸の越後屋呉服店に奉公に出て、後に三井本店の支配人になりました。その後、故郷の倉賀野に戻った勘十

郎は、長野堰の改良や、製糸場「光塩社」設立をはじめ、私塾「倉賀野義塾」開校に尽力しました。さらに勘十郎は、前橋英和女学校（共愛学園）開校にも参加し、後に同校第3代校長に就任しています。ちなみに養子の亦太郎は、わが国の心理学会において、重要な足跡を残した人物として知られています。

問20

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

江戸の著名な狂歌師・戯作者であった大田南畝（^{おおたなんぼ} 蜀山人^{しよくさんじん}）は、幕府の役人でもあり、1802（享和2）年に、赴任していた大坂から江戸への帰路に、中山道で上州を通過しています。その際、高崎城下や倉賀野宿、新町宿での見聞が記載されているのが『^{じんじゅつきこう}壬戌紀行』です。

紀行によれば、板鼻宿を出た南畝は、「藤塚村」「豊岡村」を過ぎて、高崎に入ります。高崎が賑わい、「江戸にかへりし心地ぞする」と述べた南畝は、大坂からの帰路、中山道で初めて【ア】を見たと記しています。

そして、倉賀野宿の脇本陣に一泊した南畝は、「右江戸道、左【イ】といふ石表（道しるべ）」を見て、「岩鼻村」に入ります。その後、南畝は、小坂を下りて【ウ】を船で渡り、「立石新田」より新町宿に入ると、家並みが長く続くと記しています。

- ア （1）土倉（質屋） （2）紺屋（染物屋）
 （3）本酒屋（造酒屋） （4）書肆（^{しょし}本屋）

〔正解 4〕

- イ （1）越後道 （2）秩父道 （3）日光道 （4）信濃道

〔正解 3〕

- ウ （1）鐺川 （2）烏川 （3）碓氷川 （4）利根川

〔正解 2〕

●解説

大田南畝（蜀山人、1749～1823）は、貧しい幕府の御家人の家に生れ、下級役人として出仕しながらも、狂歌師・戯作者として知られ、江戸文化の中心となった人物の一人です。彼の作品は、庶民の何気ない情感を切り取ったものから、

賄賂や情実で動く幕臣の腐敗を皮肉るような政治性のあるものまで幅広いものでした。そして、南畝の代表的な紀行文である『壬戌紀行』は、彼の観察眼によって、当時の街道の様子を詳細に知る事ができる貴重な資料となっています。

紀行によれば、高崎城下に入ると、「諏訪大明神の社はちいさき土蔵づくりなり」とあり、現存するあら町諏訪神社の当時の状況が描かれています。当社は、箕輪城下から高崎へ勧請したものとされ、現在よりも街道沿いに所在していました。さらに紀行には、倉賀野宿や新町宿の様子も細かく記されています。

問 2 1

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎宿は中山道の伝馬宿駅として発展し、脇往還と呼ばれる街道が何本も合流する陸上交通の重要な拠点となりました。日光例幣使道は、都の朝廷から幣帛^{へいはく}を奉納するため派遣された勅使が通ったため呼ばれ、【ア】で中山道と分かれ日光東照宮へ向かった街道です。また、佐渡路の一つで関東と新潟県を結ぶ【イ】は佐渡の金銀山の開発に伴って急速に整備が進められました。

ア (1) 倉賀野 (2) 下滝 (3) 田町 (4) 綿貫

[正解 1]

イ (1) 越後街道 (2) 実正街道^{さねまさ} (3) 沼田道 (4) 三国街道

[正解 4]

●解説

軍事・交通の要衝であった上野国の中でも高崎宿と倉賀野宿は重要な場所でした。両宿は、主要街道中山道に設けられた宿場であるだけでなく、いくつもの脇往還が交叉する交流拠点の宿場となります。特に、中山道から分岐する三国街道と日光例幣使道は主要な街道として往来が頻繁となり、その重要性が一段と高まりました。倉賀野宿の下町^{しもちょう}から分かれる例幣使道は、朝廷からの幣帛を日光東照宮へ奉納するため派遣される勅使が通行するため整備された街道ですが、玉村宿や五料の渡しに通じる道として発展します。三国街道は高崎宿本町から分かれ越後国寺泊(現長岡市寺泊地区)と関東をつなぐ主要街道で、参勤交代や幕府の役人の他に佐渡の金銀山の開発に伴い佐渡奉行関連も通行し、高崎城下本町には宿泊時に利用される

御金蔵が設けられています。金古や渋川方面からの商人たちの往来も多く、高崎宿の経済を発展させる力となりました。

問 2 2

江戸時代の高崎藩医高島昌軒たかしましようけんに関する次の文章のうち、正しいものはどれでしょうか。

- (1) 高島昌軒は、前野良沢、杉田玄白らとともに『解体新書』の翻訳に関わりました。
- (2) 高島昌軒は、町医から藩医に登用され、上小鳥の領民に対し、種痘を行いました。
- (3) 高島昌軒は、代々医業をもって高崎藩に仕える家に生まれ、外科をシーボルトに学びました。
- (4) 高島昌軒は、上州で初めて、死罪になった罪人の解剖を行い、これを人体解剖図に著しました。

[正解 4]

●解説

高島家は代々医業をもって、高崎藩に仕える藩医でした。昌軒は18歳の時に華岡青州から外科を学び、また後に父である意伯から内科を学んでいます。さらに、長崎に遊学し、オランダ人について医術を学び、技量を高めたと言います。

天保年間(1830~44)、死罪となった罪人の腑分け(解剖)を行い、画工に人体解剖図を作成させました。その時の記録によれば解剖を見学する者が続々と押し寄せ、口々にその快挙を称えたとあります。山脇東洋による我が国最初の人体解剖(1754(宝暦4)年)から80年ほど後のことになりますが、上州における初の人体解剖となりました。

享年54。高島昌軒の墓は正法寺(九蔵町)にあります。

問 2 3

次の文章のうち、【 】に適するものは、下の選択肢のどれでしょうか。

日露戦争は日本軍戦死者11万人を超え、兵力、武器弾薬、食糧など国力の限界まで消耗して戦う近代総力戦の要素をもっていました。なかでも旅順攻撃のための二百三高地攻略は激烈で、コンクリートでかためた要塞を日本軍歩兵が攻撃し、5000人以上の戦死者、1万人以上の負傷者を出しました。

1904（明治37）年8月13日から、高崎歩兵第十五連隊は二百三高地北方の一六四高地を攻撃し、520人以上の死傷者を出す激戦のすえ占領し、旅順攻略を有利にし、乃木希典第三軍司令官が同高地を【 】と命名したことでも著名です。

- (1) 赤坂山 (2) 高崎山 (3) 乗附山 (4) 柳川山

〔正解 2〕

●解説

1904（明治37）年8月13日、高崎歩兵第十五連隊は、旅順北方の一六四高地攻撃に第三軍所属として参加し、520余人の死傷者を出す激戦のすえ、15日に占領しました。第三軍司令官乃木希典は、この十五連隊の激闘を讃えて一六四高地を高崎山と命名しました。この激闘の結果、二百三高地攻撃、旅順陥落を有利に進め、日露戦争の勝利に貢献したのです。

問 2 4

頼政神社境内に建つ内村鑑三記念碑には、下の詩が刻まれています、
□ に当てはまる文字として正しいものは次のうちどれでしょうか。

	至	唯	剛	上	
	誠	以	毅	州	上
	依	正	木	無	州
	神	直	訥	智	人
	期	接	易	亦	
鑑	勝	萬	被	□	
三	利	人	欺		

- (1) 無礼 (2) 無為 (3) 無才 (4) 無学

[正解 3]

●解説

キリスト教思想家であり、無教会主義の創始者として知られる内村鑑三は、高崎藩士の子として1861（万延2）年に高崎藩江戸屋敷で生まれました。幼少期を高崎で過ごし、大河内輝声の創立した高崎英学校で学びました。

1961（昭和36）年に生誕100年を記念して、高崎公園わきの頼政神社境内に内村鑑三記念碑が市内の工芸家水原徳言の設計により建立されました。鑑三が幼い日に遊んだ烏川を眼下に、遠く浅間山を望む景勝地で、中央の黒御影石に、死の一月前に病床を見舞った親友の牧師住谷天来に贈った「上州人」の漢詩が刻まれています。

上州無智亦無才（上州人は無智にして無才であり）
 剛毅木訥易被欺（剛毅木訥でだまされやすく）
 唯以正直接萬人（ただ正直をもって万人に接し）
 至誠依神期勝利（誠を尽くし神による勝利を期す）

晩年、若松町の光明寺に先祖の墓参りをした鑑三は、日記に「噫我も亦上州人である」と記していますが、この詩の上州人は鑑三自身でもあったのです。

問 25

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

日本が産業革命を経て急速に発展すると、保育や貧しい家庭の子女の教育が問題になってきました。高崎市赤坂町の長松寺住職山端息耕^{やまはたそっこう}は、高崎市立北小学校と曹洞宗寺院の協力を得て、長松寺内に【ア】をつくりました。家が貧しいため他家に勤め、子守をしている子女のための初等教育の場としたのです。

子守をしている子女は、勤めている家の小さい子どもを【イ】集まり、【ア】で勉強をしました。もちろん子どもの面倒も見ました。【ア】は、初等教育と【ウ】が一体化した機能を持った立派な施設でした。

- ア (1) 高崎育児院 (2) 樹徳子守学校^{じゅとくこもりがっこう}
(3) 長松寺こども園 (4) 曹洞宗保育園

[正解 2]

- イ (1) 抱いて (2) 乳母車に乗せて
(3) 負紐^{おぶいひも}でおぶって (4) 車椅子に乗せ

[正解 3]

- ウ (1) 保育 (2) 新時代教育 (3) 宗教教育 (4) 小学校教育

[正解 1]

●解説

明治後期は産業が発達して商工業が盛んになり、人口も増えていきました。高崎地域でも、小学校へ行く年齢に達していながら学校へ行けず、家計補助のため街の商業者や工業者に「奉公」に出なければならない児童が増えていったのです。男子は主に労働見習いを行い、女子は勤め先の家事見習いや乳幼児の保育に携わりました。

こうした状況を打開するため、長松寺の住職山端息耕が1903（明治36）年、市内の曹洞宗の寺院の協力と高崎市立北小学校の協力を得て、長松寺の寺内に樹徳子守学校をつくりました。樹徳子守学校は奉公のために学校

へ行けず、子守をしていた女の子のための初等教育の場でした。初め修業年限は2カ年でした。

問 2 6

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

自由民権運動は、国会と憲法、国民の政治参加を求める運動でした。高崎は自由民権運動の中心であり、群馬県を代表する政社【ア】が結成されました。【ア】は群馬県内の政社と協力して上毛有志会をつくり、【イ】を開設する運動を興し、明治政府に請願書を提出しました。

自由民権運動が明治政府の方針と衝突するようになると、高崎の観音山などで会議を開き、高崎駅や本庄駅で、明治政府の高官を襲撃し、新しい政治を実現するという計画を立てました。この計画は実現しませんでした。これは【ウ】という自由民権運動激化事件のきっかけとなったのです。

ア (1) 大成社 (2) 有信社 (3) 立志社 (4) 交親社

[正解 2]

イ (1) 国会 (2) 独立議会 (3) 人民会議 (4) 民族議会

[正解 1]

ウ (1) 秩父事件 (2) 上州事件 (3) 群馬事件 (4) 高崎事件

[正解 3]

●解説

明治政府の有司専制（藩閥専制）政治に対して、公議世論を重んじ、国会の開設を求める運動が起こりました。日本の各地で政社が結成されて運動は盛んになり、高崎でも士族を中心とした有信社が結成され、国会開設請願運動を繰り広げました。有信社の初期の史料をみると、明治維新の改革で没落した士族が、信義を重んじ結束と親睦を図るためであったようです。

有信社を中心とした上毛有志会は、各地の同志と結束して自由民権運動を繰り広げ、その組織は上毛自由党になっていきました。国会を持ち憲法を持ち、国民の意見が政治に反映されるようになっていく源流となったの

が自由民権運動でした。

問 27

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

鉄や青銅などの金属を溶解し型に流し込む手法によって、梵鐘や仏像などを製造する職人を【ア】といました。高崎には幕末の頃、3人の【ア】がいたことが確認されています。そのうち小林弥兵衛は各地の神社に多くの品を献納しており、貫前神社に奉納された天水桶がよく知られています。明治時代になり三代目が皇居【イ】の橋桁及び装飾部を製造して頭角を現し、鉄工所を建設して地域産業の近代化と機械化を推進、この鉄工所が高崎工業界の草分け的存在の小島鐵工所となります。

ア (1) 鋳物師 (2) 鍛冶師 (3) 鋳金師 (4) 銅物師
〔正解 1〕

イ (1) 大手門橋 (2) 北詰橋 (3) 二重橋 (4) 半蔵門橋
〔正解 3〕

●解説

鋳物師は、金属を溶解し型に流し込み器物を製作する鑄造という工法の金属加工を業とする者で、幕末の頃、高崎には三人いたことが確認されています。そのうち連雀町で鍋屋を号した小林弥兵衛は下並榎村の筏場に吹場を設けて本格的な営業を始め、鋳物師免許状の発行者である京都の真継家から免状を取得したことから小島姓を用いるようになります。鋳物師が鑄造した製品には梵鐘や鰐口の他に、鍋・釜などの生活用品がありますが、弥兵衛が関わった物として榛名神社に献納した紫銅製神灯や貫前神社の天水桶が知られています。1884（明治17）年、三代目弥平が皇居二重橋造営に際し、沼田出身の設計者久米民之助の依頼により橋桁及び装飾部を製造し頭角を現します。弥平が興した鉄工所が高崎工業界の草分け的存在の小島鐵工所となります。

問 28

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎白衣観音は2016（平成28）年10月に建立【ア】周年を迎えました。観音山を近代的公園に開発しようと井上工業の井上保三郎が計画して建立しました。伊勢崎市出身の鑄金工芸家森村酉三が制作した原型を、後に首相になった同社に勤務していた田中角栄が自転車で運んだといえます。白衣観音は戦没者の慰霊にも貢献し、建立の2年前にあった【イ】は軍都高崎市に大きな影響を与えました。

ア （1）40 （2）60 （3）80 （4）100

〔正解 3〕

イ （1）シベリア出兵 （2）日清戦争
（3）日露戦争 （4）陸軍特別大演習

〔正解 4〕

●解説

2016（平成28）年10月20日、高崎白衣大観音は建立80周年を迎えました。大観音は、建設会社井上工業社長井上保三郎（当時）が日清、日露戦争の戦没者慰霊、観光開発、国民思想善導のために、伊勢崎市出身の彫金工芸家森村酉三に原型作成を依頼し、1936（昭和11）年に完成し、高さ41.8メートル、重さ5985トンの当時世界一の巨像として注目されました。

1939（昭和14）年に高崎市に寄付され、1950（昭和25）年に新日本観光地百選に選ばれ、2000（平成12）年に登録有形文化財に登録されました。

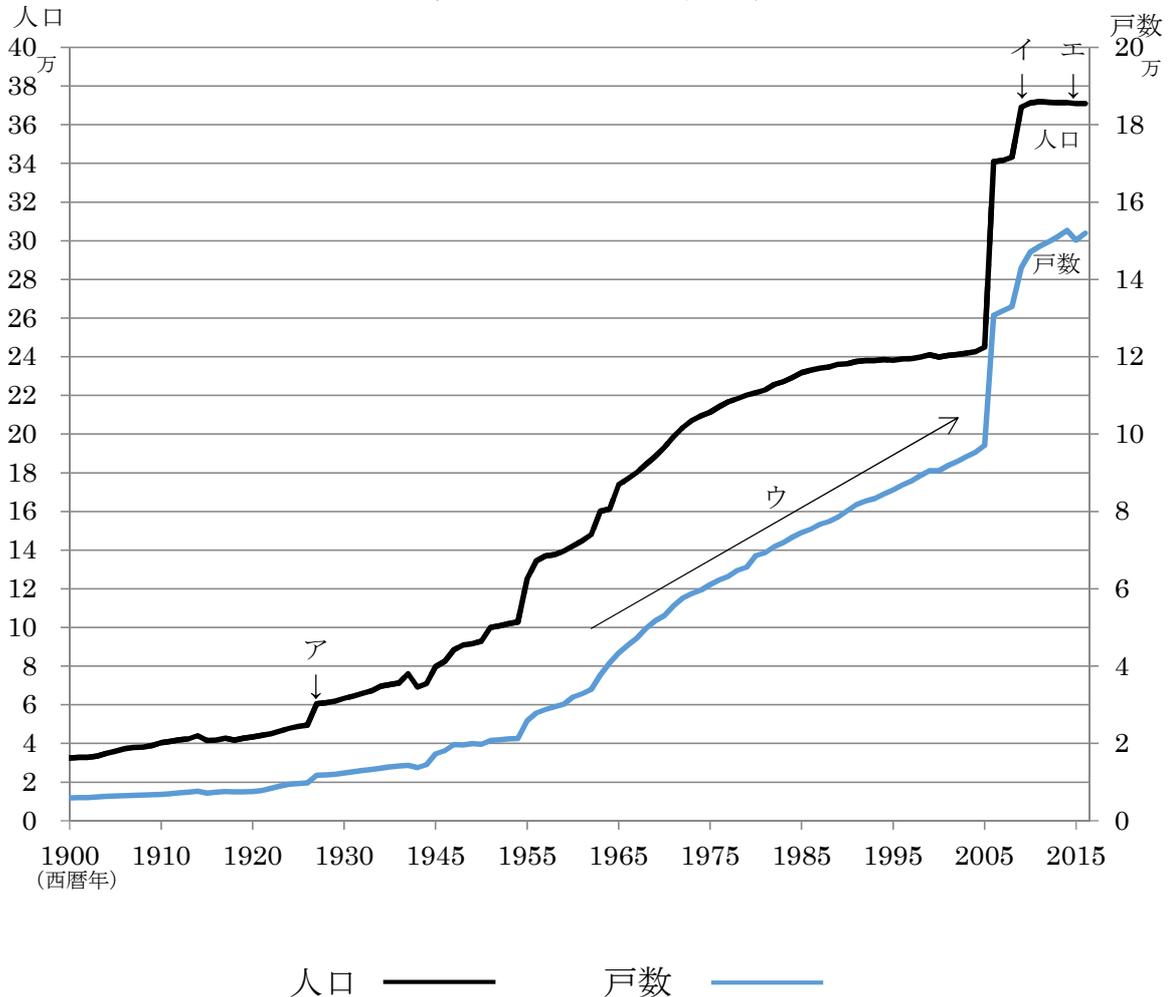
陸軍特別大演習は二箇師団以上が参加し、天皇が統監する大規模な演習で、1892（明治25）年にはじまり、日清・日露戦争期には断続しましたが、1907（明治40）年から1936（昭和11）年までは毎年各地で実施されました。

1934（昭和9）年には11月11日から13日まで群馬県を中心に関東地方で実施され、昭和天皇が統監し群馬県庁に大本営を設置して、近衛師団、第一師団（ともに東京）、第二師団（仙台）、第十四師団（宇都宮）が参加して大演習を実施し、14日には乗附練兵場で観兵式をおこないました。

問 2 9

高崎市の人口・戸数の推移グラフです。グラフの中の「ア」～「エ」の部分に関する設問に答えなさい。

高崎市の人口・戸数推移



ア 「ア」について、人口が大きく上昇したのは町村合併の結果ですが、高崎市に合併した町村は下の選択肢のどれでしょうか。

- (1) 群南村 (2) 新高尾村・中川村
- (3) 塚沢村・片岡村 (4) 六郷村

[正解 3]

イ 「イ」について、人口が大きく上昇したのは町村合併の結果ですが、高崎市に合併した町村は下の選択肢のどれでしょうか。

- (1) 倉渕村 (2) 新町 (3) 箕郷町 (4) 吉井町

[正解 4]

ウ 「ウ」について、戸数の増加が大きかった正しい理由は、下の選択肢のどれでしょうか。

- (1) 住宅団地が造成された。
- (2) 上越新幹線が開通した。
- (3) 工業団地が造成された。
- (4) 高速道路が開通した。

[正解 1]

エ 「エ」について、人口が停滞してきたにもかかわらず戸数が増加することにより、管理されていない老朽化した住宅が増えました。そのことよって発生した課題に対して、全国に先駆け取り組んだ高崎市の行政施策は、下の選択肢のどれでしょうか。

- (1) 空き家緊急総合対策事業
- (2) 高齢者安心プラン
- (3) 子ども・子育て支援事業
- (4) まち・ひと・しごと創生総合戦略

[正解 1]

●解説

ア・イ 高崎市は1900（明治33）年に誕生し、人口3万2467人、戸数5924戸からほぼ右肩上がりに増加し、2017（平成29）年には37万4658人（市制施行後117年間で11.5倍）、16万2626戸（同27.5倍）に膨張しました。その要因として市町村合併が大きく影響していることがグラフからよく分かります。

アは最初の市町村合併である1927（昭和2）年4月1日、高崎市と群馬郡塚沢村・片岡村との合併による人口増となり、イは2009（平成21）年6月1日、多野郡吉井町との最後の合併による人口増です。

ウ 1970年代から90年代にかけて住宅団地が各地に造成されたために、人口の伸び率よりも戸数の伸び率の方が大きくなりました。市営団地が綿貫（1970年から1972年）、中居（1974年から1977年）、井野（1986年から1988年）、県営団地が中尾（1971年）、鼻高（1979年）、城山（1980年から1985年）、上佐野（1985年から1997年）、大沢（1989年から1993年）、浜尻（1992年から2001年）などつぎつぎと造成された結果、戸数が大きく増加したのです。

エ 人口減少、高齢化に伴い空き家が急増し、周辺的生活環境に悪影響を及ぼす危険もあるので、その対策として平成26年6月から高崎市空き家緊

急総合対策を実施しています。空き家管理助成金、空き家活用促進改修助成金、地域サロン改修助成金などを交付して、空き家の活用をはかっています。

問30

次の文章のうち、【ア】～【オ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

市内には古くから伝わる様々な民俗芸能がありますが、それぞれの地域や団体で継承してきたこれらの民俗芸能を広く市民の方々に紹介し、その文化的価値を再認識していただく機会として、毎年秋に【ア】を会場に、【イ】が開かれています。

【イ】は市制95周年事業の一つとして始まり、今年で第23回を迎えますが、ステージ上では【ウ】や神楽、お囃子、八木節、木遣いざななどが次々に披露され、見る者を祈りや祭りの世界に誘ってくれます。高崎市の【ウ】は県下一の数を誇りますが、一人がそれぞれ一頭を担当し、腹にくくり付けた太鼓を叩きながら踊り、【エ】が一組になって演じられます。その歴史は古く、江戸時代、城下の羅漢町では、【オ】のために行われていたとの記録が残されています。

これら民俗芸能にとって、担い手の高齢化や後継者不足などが課題ですが、厳しい環境の中、保存会などを組織し、次世代へ繋いでいくための取組を進めています。

- ア (1) 群馬音楽センター (2) 榛名文化会館 (エコール)
(3) 新町文化ホール (4) 高崎市文化会館

[正解 4]

- イ (1) 高崎伝統民俗芸能祭り (2) 高崎フィルム・コミッション
(3) 高崎まつり技能祭 (4) かみつけの里古墳祭り

[正解 1]

- ウ (1) 剣舞 (2) 獅子舞 (3) 雷舞 (4) 田楽

[正解 2]

- エ (1) 二頭 (2) 三頭 (3) 五頭 (4) 十頭

[正解 2]

- オ (1) 雨乞い (2) 不老長寿 (3) 極楽浄土 (4) 火伏せ

[正解 1]

●解説

高崎市には郷土に根付いた多くの民俗芸能があります。そこには人々の願いがあり、祈りがありますが、人々の生活との強い結びつきの中で継承されてきた民俗芸能も社会の変化や時代の流れの中で、そのいくつかは失われようとしています。

高崎伝統民俗芸能祭りはこういった実態にブレーキをかけ、貴重な民俗芸能の保存活動を促進し、次世代に伝承していくことを目的に毎年秋に開催されているものです。同時に、市民に伝統民俗芸能を鑑賞する機会を提供し、地域としての一体感を高めるとともに市民文化の一層の向上を目指しています。現在、これら民俗芸能の保存、継承に向け、それぞれ保存会を組織し、後継者の育成や発表の機会や場の確保など、次世代へ繋げていくためのさまざまな取組を行っています。

組織されている保存会名と加盟団体数は次の通りです。

- ・高崎市獅子舞保存会連絡協議会（36団体）
- ・高崎市神楽保存会連絡協議会（9団体）
- ・お囃子（2団体）
- ・高崎八木節連合（14団体）
- ・木遣（1団体）

問31

次の文章のうち、【 】に適するものは、下の選択肢のどれでしょうか。

音楽の街高崎はクラシックだけでなく、ロックもさかんです。高崎出身の【 】は同郷の氷室京介・松井恒松らとロックバンドBOOWY^{ボウイ}を結成し、1988（昭和63）年に東京ドームでの公演を最後に、その後はソロギタリストとして活動し、現在はイギリスに活動拠点を移し世界的に活躍しています。なお、2017（平成29）年6月に解散30周年を記念し渋川市で1000人ライブを開き、全国から参加者が殺到して話題になりました。

- | | |
|---------------------------------------|------------------------------------|
| (1) <small>さかもとりゅういち</small>
坂本龍一 | (2) <small>てらうち</small>
寺内タケシ |
| (3) <small>たかみざわとしひこ</small>
高見沢俊彦 | (4) <small>ほていともやす</small>
布袋寅泰 |

〔正解 4〕

●解説

1962（昭和37）年に高崎市江木町で生まれた布袋寅泰は、新島学園在学

中ロックバンドで活動していましたが、同校を中退して上京し、同郷の氷室京介・松井恒松らとロックバンドBOØWYを結成し、ギタリストとしてデビューしました。1988年（昭和63）年4月の東京ドームでの解散公演までBOØWYは活動し、その後、ソロギタリストとしてライブやシングル・アルバム作成、作曲、音楽プロデューサー・映画出演（新・仁義なき戦いほか）などの活動をしました。1991（平成3）年にはロンドンで開かれたジャパンフェスティバルに招かれてワンマンライブを開催しました。1994（平成6）年、2008（平成20）年に東大寺で行われたイベントに参加しました。1996（平成8）年にはアトランタオリンピック閉会式セレモニーにフロントギタリストを務めました。現在はロンドンに移住し、日本と欧米を中心に活動しています。2016（平成28）年7月、市役所前のもてなし広場で開催された野外ライブコンサートでは、スペシャルライブゲストとして出演し観衆を魅了しました。BOØWYデビュー35年にあたる2017（平成29）年6月に、渋川市伊香保グリーン牧場で開催された1000人ロックでは、全国から出演者が集まりヒット曲B・BLUEを演奏しました。35周年を記念してニューアルバムも8月に発売され、伝説的ロックバンドの人氣が衰えていないことを示しています。

問32

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

2006（平成18）年から高崎在住の小説家【ア】の小説『薄情』（2015年新潮社）では、高崎が舞台となって高崎の暮らしぶりや街の様子などが丁寧に描かれていて、単なる背景にとどまらず地方都市ならではの地域社会が浮き彫りにされています。

【ア】は小説家にとどまらず、高崎経済大学の非常勤講師や新聞、ラジオで活躍、最近では高崎駅のラジオ高崎のスタジオで、毎週金曜の朝5時45分から「【ア】のゴゼンサマ」の番組を担当し、早朝からの生放送で人気者となっています。小説家としての主な受賞歴は、川端康成文学賞（2004年）、【イ】（2005年）、谷崎潤一郎賞（2016年）などがあり、2005年には直木賞候補にもなっています。

- | | | |
|---|------------------------------------|-----------------------------------|
| ア | (1) <small>いとやまあきこ</small>
糸山秋子 | (2) <small>よしながなお</small>
吉永南央 |
| | (3) <small>よこやまひでお</small>
横山秀夫 | (4) <small>いだ</small>
井田ヒロト |

〔正解 1〕

- イ (1) 菊池寛賞 (2) 芥川龍之介賞
(3) 野間文芸賞 (4) 読売文学賞

〔正解 2〕

●解説

絲山秋子さんの小説『薄情』は2014年の高崎を襲った豪雪から始まり、他にも高崎や群馬を舞台にした『イツ・オンリー・トーク』や『ラジ&ピース』などの小説があります。

解答選択肢の吉永南央さんは高崎在住の小説家で『紅雲町珈琲屋こよみ』シリーズなどがあり、『半落ち』『ロクヨン』などの作者横山秀夫さんも高崎に在住。井田ヒロトさんは『お前はまだグンマを知らない』の作者。

問33

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎市内には5つの大学と4つの短期大学があります。そのうち【ア】は1936（昭和11）年に須藤和洋裁女学院として発足し、1966（昭和41）年に群馬女子短期大学、1971（昭和46）年に群馬女子学園と改称し、2001（平成13）年に現在の校名に改称しました。また、【イ】は前橋に1977（昭和52）年に設置し1987（昭和62）年に高崎にキャンパスを移転しました。

- ア (1) 上武大学 (2) 高崎健康福祉大学
(3) 高崎商科大学 (4) 群馬パース大学

〔正解 2〕

- イ (1) 育英短期大学 (2) 高崎健康福祉大学短期大学部
(3) 高崎商科大学短期大学部 (4) 新島学園短期大学

〔正解 1〕

●解説

市内には高崎経済大学、高崎商科大学、群馬パース大学、上武大学、高崎健康福祉大学の5大学と、新島学園短期大学、育英短期大学、高崎健康福祉大学短期大学部、高崎商科大学短期大学部の4短期大学があります。

ア 1936（昭和11）年に須藤和洋裁学院を設立した須藤いま子は、1954（昭和29）年に新校舎を建設、移転し須藤高等技芸学校と改称し、1966（昭和41）年に群馬女子短期大学を設立しました。家政科だけでしたが、翌年度に国文科を増設しました。2001（平成13）年、高崎健康福祉大学健康福祉学部を新たに設立し、群馬女子短期大学を同大学短期大学部に改組し、男女共学化を行いました。その後も各学部を設置し、現在では健康福祉学部、薬学部、保健医療学部、人間学部の4学部、修士課程、博士課程の大学院、短期大学部を備えるようになりました。附属高校の硬式野球部は県下有数の強豪校です。

イ 1977（昭和52）年に前橋市に設置した前橋育英学園短期大学を、1987（昭和62）年に高崎市京目町に移転し育英短期大学と改称しました。保育学科、英語科2学科を設け、2002（平成14）年に英語科を現代コミュニケーション学科に改めました。教育学部を設けた育英大学を2018（平成30）年度に開設する計画です。

問34

次の文章のうち、【ア】～【エ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎市は、今年度から、臨海学校に代え、【ア】を対象に、【イ】の豊かな自然を生かした体験学習を行う林間学校をスタートさせました。

林間学校は、旧国民宿舎【ウ】の土地と建物を東吾妻町から取得し、整備を進めてきたものです。子どもたちは、ここでの共同生活や体験学習を通して、身近にある自然の豊かさや友達と協力することの大切さを学び、自ら考え行動する姿勢やチャレンジ精神、協調性を身に付けます。活動の基本は「登山」、「キャンプファイヤ」、「野外炊飯」の3つですが、登山では途中、世界かんがい施設遺産に登録された【エ】の取水口を巡るコースが設けられています。

- ア (1) 小学3年生 (2) 小学5年生
(3) 中学1年生 (4) 中学3年生

〔正解 2〕

- イ (1) 倉渕地域 (2) 観音山 (3) 鐺川 (4) 榛名山

〔正解 4〕

- ウ (1) 榛名吾妻荘 (2) 旧下田邸 (3) 観水荘 (4) 錦山荘

〔正解 1〕

- エ (1) 滝川用水 (2) 金ヶ崎用水

- (3) 長野堰用水 (4) 板鼻堰用水

[正解 3]

●解説

榛名湖畔を中心に市内小学校の5年生が自然体験活動を行う林間学校が今年度(平成29年度)から始まりました。

林間学校は高崎市がそれまで東吾妻町が所有していた国民宿舎「榛名吾妻荘」の土地と建物を取得、食堂の改修や施設周辺に野外炊事場やキャンプファイア場などを新設し、開校準備を進めてきたものです。名称も「榛名林間学校榛名湖荘」と改められ、装いを新たにした施設で宿泊をし、普段の学校生活では経験することのできない榛名の豊かな自然を生かしたさまざまな活動を行います。

これまで実施されてきた臨海学校は新潟県柏崎市にある二つの施設で行われてきました。一つは柏崎市米山小学校笠島分校跡地に建てられた施設(昭和42年開設)、もう一つは日本石油の初代社長内藤久寛氏が所有していた邸宅を一部改修した施設「久寛荘」(昭和54年開設)です。前者は旧高崎市等広域市町村圏内の小学校を中心に、後者は旧多野藤岡広域圏内の小学校を中心に利用されてきましたが、日本海 of 自然の中で過ごす夏休みを利用した2泊3日の宿泊体験は海水浴と海辺の観察、レクリエーションなどの活動を通して子どもたちの豊かな人間性を培ってきました。

臨海学校から林間学校へと変わり、活動場所も新潟県から高崎市へと移りました。榛名山の豊かな自然の中でのさまざまな体験は子どもたちに仲間との協調性を身に付けさせ、物事に積極的に取り組もうとするチャレンジ精神を養うとともに、ふるさとの良さに気づき、郷土高崎を愛する心を育みます。

〔正解 4〕

ウ 次の説明に該当する停車駅は、下の選択肢のどれでしょうか。

石清水八幡宮から勧請した神社近くの駅、その神社には県指定重要文化財の算額が3面、市指定重要文化財本殿・幣殿・拝殿、からかねとうろう 胴丸、唐銅燈籠があります。

(1) 高崎駅 (2) 群馬八幡駅 (3) 新町駅 (4) 山名駅

〔正解 2〕

エ 次の説明に該当する停車駅は、下の選択肢のどれでしょうか。

上越線開通以前に三国街道沿線の物資の集散地としてにぎわいました。いまは近くの新島学園短期大学・高崎商科大学附属高校などの通学に利用されています。

(1) 北高崎駅 (2) 倉賀野駅 (3) 新町駅 (4) 群馬八幡駅

〔正解 1〕

オ 次の説明に該当する停車駅は、下の選択肢のどれでしょうか。

1897（明治30）年に開業し、近くに県指定史跡の念流道場があります。上野三碑の多胡碑も近くにあります。

(1) 倉賀野駅 (2) 西山名駅 (3) 馬庭駅 (4) 山名駅

〔正解 3〕

カ 次の説明に該当する停車駅は、下の選択肢のどれでしょうか。

1930（昭和5）年に水泳場前駅として開業し、1938（昭和13）年に入野駅、1986（昭和61）年に現在の駅名に改称しました。

(1) 倉賀野駅 (2) 群馬八幡駅 (3) 西山名駅 (4) 馬庭駅

〔正解 3〕

キ 次の説明に該当する停車駅は、下の選択肢のどれでしょうか。

現在の群馬の森などに変わった岩鼻火薬製造所の物資輸送のために、

1917（大正6）年に岩鼻軽便鉄道が敷設され、1945（昭和20）年までこの駅から上州岩鼻駅まで国鉄の貨車が運行しました。

(1) 北高崎駅 (2) 倉賀野駅 (3) 新町駅 (4) 高崎駅

〔正解 2〕

●解説

ア 高崎に鉄道が建設されたのは、1883（明治16）年に上野・新町間に日本鉄道が開通したのが最初であり、翌年に上野・高崎間が開通しました（現. JR高崎線）。

1885（明治18）年に高崎・横川間の中山道鉄道（現. JR信越本線）が開通し、三国街道と交わる地点に飯塚停車場（現. 北高崎駅）を設置しました。1893（明治26）年に高崎・直江津間が開通し、1909（明治42）年に上野新潟間が直通し、信越線と命名し、1914（大正3）年に信越本線と改称しました。

1897（明治30）年に高崎・下仁田間の上野鉄道（現. 上信電鉄）が開通しました。軽便鉄道で布設した民営鉄道です。余地峠を越えて長野県佐久鉄道まで延伸する計画で、上信電気鉄道に改称したが、延伸は実現しませんでした。1964（昭和39）年に上信電鉄に改称しました。

1920（大正9）年に新潟県宮内・東小千谷間の上越北線、翌21（大正10）年に上越南線の高崎・渋川間が開通し、南北から布設を進めてゆきました。上越北線は1928（昭和3）年に高崎・水上間が開通し、1931（昭和6）年に清水トンネルを貫通して、新潟県宮内駅まで全線開通しました。上越南線が上越北線を編入して上越線と改称し（現. JR上越線）、同駅で信越本線に接続して新潟駅まで直通しました。太平洋側と日本海側とを最短距離で直結する鉄道で、軍事的にも重視されました。

八高線は1931（昭和6）年に倉賀野・児玉間、1933（昭和8）年に児玉・寄居間、1934年（昭和9）年に寄居・小川間が開通し、すでに開通していた八王子・小川町の八高南線に編入され、高崎・八王子間の全線が開通しました。

イ 山名駅は上信電鉄開通の1897（明治30）年に設置されました。山名八幡宮の最寄り駅です。山名八幡宮は新田義重の子山名義範が八幡宮の総本社豊前国宇佐神宮を勧請したといわれます。東大寺建立の守護神として宇佐神宮から手向山八幡宮に勧請しました。諸説がありますが、神輿渡御のはじまりといわれます。宇佐神宮は平安時代に石清水八幡宮へ勧請され、同宮を尊崇した源頼義が鎌倉へ勧請したのが鶴岡八幡宮のはじまりで、武家勢力の拡大とともに八幡宮が全国にひろまりました。

ウ 群馬八幡駅は1924（大正13）年に設置されました。少林山達磨寺、八幡八幡宮の最寄り駅です。関東の八幡宮は鎌倉の鶴ヶ岡八幡宮から勧請するのが多いですが、八幡八幡宮は京都の石清水八幡宮を源頼信が勧請したといわれます。その後、源頼義・義家父子や源頼朝など源氏が代々崇敬し

ました。

現在の本殿、幣殿、拝殿は1757（宝暦7）年建造で、棟札とともに市指定重要文化財です。和算家小野栄重らが1810（文化7）年に奉納、岩井重遠らが1834（天保5）年に奉納、中曽根真吾門人が1860（安政7）年に奉納した算額が3面あり、県指定重要文化財です。そのほか市指定重要文化財に胴丸、唐銅燈籠があります。唐銅燈籠は高崎田町出身で、横浜弁天通糸繭商の野澤屋（茂木）惣兵衛が1867年（慶応3）年に奉納したものです。1754（宝暦4）年に復興し34の演目を伝える太々神楽とそれに使用する面・楽器・衣裳は市指定重要無形文化財です。

エ 北高崎駅は1885（明治18）年、信越線と三国街道が交わる場所に飯塚駅として設置され、上越線が開通されるまで渋川、沼田方面の物資を鉄道で運搬する駅として繁栄しました。現在でも倉庫や運送業施設の痕跡が残っています。1919（大正8）年に北高崎駅と改称し、現在では高崎商科大学附属高等学校や新島学園短期大学の学生、生徒達が通学に利用しています。

オ 馬庭駅は上野鉄道開通の1897（明治30）年に設置されました。県立吉井高校が近くにあり、県指定史跡の馬庭念流道場の最寄り駅です。馬庭念流は室町時代の相馬四郎義元が創始し、戦国時代の八世樋口定次が中興の祖といます。江戸に道場を開いた時期もあります。倣士館という現存道場は1867（慶応3）年に建立。念流は市指定重要無形文化財です。

カ 上信電鉄が観光資源に設置したプールの乗降駅として、1930（昭和5）年に水泳場前駅を設置しました。日中戦争後の1938（昭和13）年に戦時下の自粛ムードのなかでプールを閉鎖し、駅名も入野駅に改称し、1986（昭和61）年に現在の西山名駅に改称しました。

キ 1917（大正6）年4月、岩鼻軽便鉄道が倉賀野・上州岩鼻間 2.6キロメートルを開業しました。陸軍が1880（明治13）年に設置した岩鼻火薬製造所は黒色火薬、ダイナマイトを製造しました。当初は烏川の舟運を利用して製品を運搬しましたが、鉄道開通後はそれを利用するようになり、本線に直結する軽便鉄道を敷設したのです。上州岩鼻駅から火薬製造所までは引き込み線が引かれ、1945（昭和20）年に岩鼻鉄道は国有になりましたが、敗戦とともに火薬製造所は廃止され、軽便鉄道も営業を停止し、線路は貨物専用線に利用されています。

問36

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

【ア】町川浦の「はまゆう山荘」は、1987（昭和62）年に【イ】市の休養村として、当時友好都市として提携していた【ア】村に開設されました。そのつながりは幕末の勘定奉行の小栗上野介が、【イ】の

発展の基礎となった【イ】製鉄所の建設を進めた人であり、その小栗上野介の終焉の地であったことがきっかけとなっています。

「はまゆう山荘」は2005（平成17）年に【イ】市より【ア】村へ移譲され、2006（平成18）年の合併により高崎市【ア】町川浦に位置することになりました。

ア （1）榛名 （2）群馬 （3）倉渕 （4）箕郷

[正解 3]

イ （1）小田原 （2）川崎 （3）横浜 （4）横須賀

[正解 4]

●解説

倉渕川浦温泉「はまゆう山荘」は横須賀製鉄所（横須賀造船所）をはじめ、日本の近代化に大きく貢献し、横須賀の発展に大きな役割を果たした小栗上野介とのつながりで、倉渕村に開設されたもので、高崎と横須賀の市民には宿泊料などの特典があります。

横須賀市の臨海公園「ヴェルニー公園」には、製鉄所の技術者ヴェルニーと小栗上野介の胸像が並んで設置されています。世界遺産に登録された富岡製糸場では、当時横須賀製鉄所のフランス人の技術者が機械類などの製造や設計に関わりました。

問37

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎市の榛名梅林と【ア】、安中市の秋間梅林は「ぐんま三大梅林」と呼ばれ、開花の季節は大勢の観光客が訪れています。

ぐんま三大梅林の中で、最も規模が大きいのは榛名梅林です。榛名梅林は【イ】の周辺に広がっており、毎年3月に【イ】を会場に梅まつりが開催されます。

ア （1）倉渕梅林 （2）観音山梅林
（3）箕郷梅林 （4）牛伏山梅林

[正解 3]

イ （1）榛名支所 （2）榛名文化会館（エコール）

(3) 榛名神社

(4) 榛名湖

[正解 2]

●解説

高崎市の「榛名梅林」「箕郷梅林」、安中市の「秋間梅林」は「群馬三大梅林」と呼ばれ、開花時期には大勢の観光客が訪れます。

榛名梅林は約400ヘクタール、約12万本が植えられています。榛名梅林は榛名文化会館エコー南の丘陵に広がっており、散策路や見晴台が整備されています。

箕郷梅林は関東平野を一望する榛名山麓に広がり、約300ヘクタールに約10万本の梅の木が植えられています。善地地区、蟹沢地区の2会場でイベントが行われます。

秋間梅林は約50ヘクタール、約3万5千本の梅が植えられています。

高崎学検定委員会